



# 豊玉二中だより

令和2年度 第10号  
発行日 1月12日(火)  
練馬区立豊玉第二中学校  
校長 神山 信次郎

## 新年を迎えて

校長 神山 信次郎

あけましておめでとうございます。令和3年が始まりました。皆さんは新しい年の始まりをどのように過ごしたでしょうか。昨年からの治まりをみせない新型コロナウイルスに今年もマスク、手洗い等を忘れずに感染対策をしっかりとしながらの生活が続きます。ひとりひとりがこのような中でも、責任のある行動をとって安心して勉強のできる学校を今年もつくっていきましょう。

私たちはどんな時でも確実に自分の道を、自分の力でしっかりと歩いていきましょう。一日一日の積み重ねが繋がって自分を成長させていくのです。

今年の干支は「丑年」です。みなさんは高村光太郎の「牛」という詩を知っていますか。

### 「牛」

高村光太郎

牛はのろのろ歩く  
牛は野でも山でも道でも川でも  
自分の行きたいところへは  
まっすぐに行く  
.....  
がちり、がちりと自然に突っ込み食い込んで



これは115行に及ぶ詩の一部ですが、じっくり読むと自然体で粘り強く、たくましい牛の姿に心が動かされます。

あわただしく過ぎていく毎日の生活ですが、皆さんにはこの牛のように、一步一步大地を踏みしめて、歩んでほしいと思います。「がちり、がちり」と自分の道を味わいながら、やるべきことを淡々とやり、周囲に振り回されることなく、少し泥臭くても愚直に生きる牛のように、力強く、自分らしく生活していきましょう。

新型コロナウイルスとの闘いは今年も続きます。日常を取り戻すための歩みは遅くとも焦らず、牛の我慢強さで一歩ずつ前に進みましょう。